

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1000

ファイル No. 371

27-C 時計算

中受ゼミ G

1

7時24分で、時計の短針と長針が作る小さいほうの角度は  $\boxed{72}$  度です。また、4時から5時の間で短針と長針が重なる時刻は4時  $\boxed{48}$  分です。

2

6時から7時の間で時計の長針と短針の位置が6の目盛りをはさんで左右対称になるのは、6時  $\boxed{30}$  分です。

3

ある日の午前2時から午前3時までの1時間で、時計の長針と短針が110度の角をつくることは2回ある。その時刻の差は何分か。

4

ある日の午前0時ちょうどから翌日の午前0時までで、長針と短針が重ならず一直線になるのは①回あります。また、5回目に一直線になるのは午前4時②分です。